

きたいを超える

北区

北区は東京の北部に位置し、桜の名所「飛鳥山公園」や荒川の水辺空間をはじめとした美しい自然が特徴のまちです。

次世代の子どもたちのため、各地域の特色を活かし、100年先を見据えて区民の想いを反映した「みんなで創るまちづくり」を推進しています。



きたいを超える東京北区

■ 魅力ある公園づくり（土木造園）

魅力ある公園を目指し、まちの変化を踏まえながら地域の魅力を高められるように区民の皆さまとアイデアを共有し意見交換を行い、多様な利用者による日常や災害時の利活用などを見据えた公園の機能・施設・レイアウトなどを決め、設計や工事を進めています。開園後は公園施設や樹木等の維持管理とともに、区民との協働による管理、公民連携による利活用に取り組んでいます。



▲区民との公園イベントの様子



▲区民とのワークショップの様子



▲区民との意見交換の様子

■ 区有施設の新築（建築・機械・電気）

区有施設整備に係る計画・設計・工事について、区民や職員、委託業者と協議を進め、「無」から「有」を造り出す業務を行なっています。区民が実際利用する施設整備に様々なシーンで携わることができ、「やりがい」と「スキルアップ」が得られる業務を行なっています。右の写真は、北区初の義務教育学校施設になります。竣工後は、児童や保護者、学校関係者、地域の方から大変喜ばれました。



▲北区立都の北学園竣工写真



▼北区立都の北学園屋上プール施設竣工写真

■ 公民連携によるまちづくり（土木造園・建築）

王子駅周辺では、地域の団体・企業・住民などが参加するエリアプラットフォームが設立されています。駅周辺で区役所移転や再開発の計画が進むなかで、身近な都市空間の活用など、まちをより良く変えていくための地域の主体的な活動を区はサポートしています。岩淵周辺では、河川空間の活用や観光拠点化に向けて「かわまちづくり」を進めています。地域の歴史や自然環境、資源を活かしながら、水辺空間の整備とまちとのつながり・回遊性の強化に取り組んでいます。さらに、区民・民間・行政が連携し、にぎわいを生み出す仕組みづくりを通じて、エリアの価値向上を目指しています。



▲エリアプラットフォームによる社会実験



▲水辺を活用したイベントのイメージ図

江東区は、東京都の南東部に位置し、西に隅田川、東に荒川、南は東京湾に囲まれた水と緑豊かな「水彩都市」です。2030年代半ばには、下町人情があふれる「深川地区」「城東地区」と発展を続ける「臨海部地区」が『地下鉄8号線の延伸』により繋がるため、沿線のまちづくりや都市開発を進めています。

高いポテンシャルをもつ江東区では、地域と一体となり積極的にハード事業を展開しています！



営繕課



【大規模改修事業】
既存施設をフルリニューアルするにあたっては、バリアフリー化・木質化・省エネを進めるとともに、施設利用者の要望を十分に設計に取り込み、改修しています。

学校施設課



小学校の改築工事では、児童や地域の方々とワークショップで様々な意見を交わしながら設計を進めます。工事中は、監督員として現場の確認や関係者との調整を行います。竣工時には、この上ない達成感を味わえます！

河川公園課



※イメージパース

公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、若洲公園のリニューアルを進めています。「親子で過ごす江東区版ゼロカーボンパーク」をメインテーマに再生可能エネルギー設備の導入を行うとともに、未来に向けた新たなシンボルとして都内最大の大型遊具を整備します。整備においては、ワークショップを開催し、こども達のイラストを階段アートに採用するなど、大型遊具をみんなで作りあげます。

道路課

江東区所有のドローン



災害時の迅速な被害状況の把握や橋などの土木施設の点検を目的にドローンを導入し、現場対応力を高めるため、職員によるドローンの操縦資格の取得も進めています（現在6名）。

安全都市づくり課



【細街路の拡幅整備】
建築主及び土地所有者の承諾を得て、現況幅員4m未満の道路を幅員4m道路に拡幅する工事を行い、住環境の向上とともに災害時の避難や円滑な復旧作業が行えるようにしています。狭かった道路が徐々に広がっていく様子にやりがいと充実感を感じます。

江東区での技術職の仕事

土木・造園	道路や橋、河川・公園の整備や維持、交通利便性の向上に向けた取り組みを行っています。「CITY IN THE GREEN（みどりの中の都市）」を目指し緑あふれるまちづくりを進めています。
建築	都市計画の決定、大規模開発やユニバーサルデザイン都市の調整、区有施設の設計・工事管理のほか、地下鉄8号線延伸に伴う沿線まちづくりにも取り組んでいます。
機械・電気	区有施設や区立学校・区立幼稚園の新設・改築・増築に伴う設計や積算・工事管理などを行う建築設備のプロフェッショナルです。

品川区



品川区は、「新しさ」と「懐かしさ」が共存するまちです。
近代的なウォーターフロント、14路線・40駅が存在する交通利便性をもちながら、
人情味溢れる商店街、旧東海道など歴史ある街並みまで、
さまざまな顔をもつ品川区で、みなさんの豊かな感性を活かしてみませんか？

注目！新庁舎整備



南東側壁面イメージ

令和7年10月に、新庁舎整備工事に着手しました。(令和11年度竣工予定)
「Well-being&InclusionShinagawa」をコンセプトに、「誰もが生きがいを
感じ、自分らしく暮らしていける品川」の実現に向け、未来に希望(WISH)
の持てる品川区政と新庁舎をつくりまします。また、新たな働き方(ワークスタイル
イノベーション)を実践することで、区民はもちろん、職員のウェルビーイング向上
を推進していきます。

注目！しながわ水族館



23区唯一の区立水族館である「しながわ水族館」の運営を行っています。令和8年10月に開館35周年を迎えるなか、水族館のさらなる魅力向上や認知拡大を目指し、様々な特別展やイベントを計画しています。また、区民に愛され、品川区のシンボルとなるような水族館を目指し、しながわ水族館のリニューアルに様々な技術職の職員が取り組んでいます。

注目！水辺利活用



区内の豊かな水辺を積極的に利活用し、にぎわい・憩いの創出を目指しています。
橋梁のライトアップや船着場の整備・管理、舟運事業者や地元団体と連携した水辺の活性化事業など、水辺に面した区だからこそできる、様々な事業に取り組んでいます。

品川区技術職員の声！～建築・電気～

～建築職～

建築職は、様々な公共施設の建築及び維持修繕を行っています。実際に設計や工事監督業務を行うこともあれば、建築計画や設計図面の審査業務、都市計画なども行っています。建築に関する様々な分野の業務が経験できるのは、区役所の建築職ならではの魅力です。

～電気職～

公務員の電気職は営利目的ではなく、区民や施設利用者の満足度を追求する設計・工事を担当できることに大きな魅力を感じることができます。CAD等を使った業務もあり、それに関する研修プログラムも充実しているので、やる気次第でスキル向上を実現できる環境です。

ちがいをちからに変える街。

渋谷区

渋谷区は、23区の南西部に位置し、にぎやかな商業エリアと閑静な住宅街が共存するまちです。さまざまな景色や文化があり、国内外から多様な人々が集まるこの場所で、あなたも渋谷の未来を一緒に描いてみませんか？

大山街道整備事業



※バスはイメージであり、今後一部変更となる可能性があります。

かつて大山詣の参拝客でにぎわい、街道として歴史のある大山街道（宮益坂、道玄坂）は、渋谷の目抜き通りとしてにぎわいを支え続けてきました。この大山街道において、歩行者中心の道づくりを推進し、にぎわいと回遊性のある、歩いて楽しい道路空間を創出するとともに、道路と沿道が一体となった街並みづくりを官民が連携して推進していきます。

九号通り公園の整備

地域の皆さまとのワークショップやアンケートをとおして、公園の再整備を行っています。R7年度に開園した九号通り公園では、インクルーシブな遊具やベンチを配置し、子どもの年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが安心して遊べる公園になりました。



—技術職の職員の声—

公園の整備事業では、多様な関係者や地域と協働して、魅力ある公園づくりに取り組んでいます。利用者の視点に立って安全に、使いやすく、心地よい空間をつくる仕事です。設計に関わった公園を皆さまに使っていただき、社会に役立っていることを見るときなど、常にやりがいを感じています。

渋谷区には面白い仕事がたくさんあります。
皆さまの入区をお待ちしています！



THE TOKYO TOILET

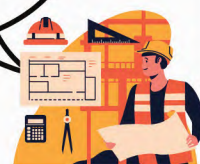
THE TOKYO TOILETは、区内17箇所の公共トイレを清掃会社や関係企業と連携し、性別、年齢、障がいの有無を問わず誰もが使いやすいトイレへ生まれ変わらせたプロジェクトです。映画の舞台にもなったトイレは国内外から注目を浴び、現在も1日最大3回の清掃やトイレ診断を実施し、維持管理に力を入れています。



撮影:永禮賢
提供:渋谷区

—技術職の職員の声—

利用者の快適さを支える裏には、細やかな調整や工夫など【見えない仕事】がたくさんあり技術職としての専門性を活かして社会に貢献できるやりがいがあります。



玉川上水旧水路緑道再整備事業



玉川上水旧水路緑道は、延長約2.6kmの都市公園で、整備から約40年が経過し、緑道全体の老朽化が進んでいるため、豊かな緑を保全しつつ、歴史・文化を継承しながら、緑道が地域の人と人とのつながりを育む空間や機会の創出を目指し、「FARM（育てる・育む）」を整備コンセプトとしてリニューアルします。

新宿区

新宿力で創造する、
やすらぎとにぎわいのまち



新宿区は、オフィス街・歓楽街・自然・文化芸能・住宅街など、多様性に富んだ都市機能を持ち、国内外から多くの人々が訪れるまちです。

新宿駅周辺地区の整備、道路の無電柱化などを推進し、誰もが安心して快適に住み続けられる新宿のまちの実現に向けて取り組んでいます。

新宿区のまちづくりの取り組み紹介

新宿グランドターミナルの一体的な再編

世界一のターミナルにふさわしい機能強化や回遊性の向上などをまちづくりの方向性として設定。

駅、駅前広場、駅ビル等が有機的に一体化した次世代のターミナルをコンセプトに、交流・連携・挑戦が生まれる場所を目指し、東京都や民間事業者とともに新宿駅周辺の再整備を推進しています。



道路の無電柱化整備

「新宿区無電柱化推進計画」に基づき、電線類を地下に埋設し、電柱を撤去することにより、災害に強いまちづくりを進めています。

また、歩行空間拡大による道路のバリアフリー化や、美しい都市景観の創出を図ります。

職員の声



職員Mさん（10年目）
土木造園（土木技術）

土木職は、インフラの整備を行いますが、公園であったり道路であったり自分自身が使うものを整備することができます。自分が手掛けた工事が目に見える形で街に残ることは、非常にやりがいを感じることができます。

また、若手の時から工事やイベントを任せてもらえるため、知識や経験をたくさん積むことができ、日々成長を感じています。

Mさんのとある一日（1時間早出の時差出勤）

- 7:30 メールチェック・一日のスケジュール確認
- 9:00 他部署からの調査回答の作成
- 11:00 事業者との打合せ準備
- 12:00 昼休み
- 13:00 事業者との打合せ
- 14:00 報告書の作成、施策の検討
- 16:15 退勤
- 17:00 子供のお迎え



杉並区

みどり豊かな
住まいのみやこ



技術力 × 共創力

01



公共建築ZEB化

学校や公園施設などの公共建築において、ZEB化（省エネ・創エネでエネルギー収支「ゼロ」を目指した建築物）に取り組んでいます。

02



次世代モビリティ

荻窪駅の南側では令和6年度よりグリーンスローモビリティの運行を開始しました。今後の自動運転化に向けた取り組みも併せて行っています。

03



対話のまちづくり

防災性向上、駅周辺拠点整備、道路事業など、様々な課題を区民とともに考え、対話を重ねながら、まちづくりを進めています。



技術系職員に特化した人材育成の実施

技術力×共創力の向上を目指して、建設系技術職（土木・造園・建築・電気・機械）の主体的な成長を後押しする人材育成方針を掲げています。

ほかにも

若手技術職員のフリートークを特集で紹介



▲すぎなみではたらく
(杉並区公式HP)